

心に残る文化財子ども塾 出雲市立平田小学校

1. 活動の概要

6月25日(火)、出雲市立平田小学校で『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。1組と2組に分かれ、それぞれ平田小学校近辺の戦国時代の話を知ったり、大仏パネルづくりを体験しました。

戦国時代の話では、地元の出雲市文化財課の方から、平田小学校の近くにあったり、学校から見える山城跡や、市内の鰐淵寺周辺で出土した土器などについて、子どもたちは話を聞きました。学校近くの公園である愛宕山が山城だったことや、周辺にも山城跡があったことが心に残った様子でした。県立古代出雲歴史博物館の職員による、広島の下町建設に尽くした平田屋佐渡守(平田出身)の話では、子どもたちには、昔の平田の様子や人々の活躍の一端にふれてもらったのではないかと思います。

大仏パネルづくり体験は体育館に場所を変えて行いました。はじめに視聴したDVD映像では、実際の大仏づくりでの困難や人々の苦労について、子どもたちは感じ取っていたようです。次の大仏パネルづくりでは、みんなやる気満々で、床全体に散らばったパネルを協力し合って並べ替え、どんどん完成へと近づけていきました。できあがった後は組ごとに大仏パネルを背景として記念撮影を行い、全員の思い出となったようです。

2. 活動の様子

1)戦国時代の平田小学校や平田のようすについて学ぶ



「小学校の近くにも山城跡がありますよ。」



平田小学校近くの愛宕山(平田城跡)

2)古代体験活動～大仏パネルづくり～



「これはどこに置けばいいのかな？」



「大仏の完成だー。こんなに大きいね。」

3. 子ども塾を終えて

1)児童の皆さんから…

- 愛宕山が山城(平田城跡)だったということが心に残った。
- 広島市に「平田」とつく川などが昔あった事も知って、少しうれしかったです。
- (鰐淵寺へ)弁慶は本当に1日で鐘を(大山寺から)持って来られたのか、もっと知りたいです。
- 大仏の手のひらに乗ってみたい。
- (大仏づくりDVD映像で、材料を溶かす)釜の事故が心に残った。
- 部屋にかざれるくらい小さい奈良の大仏をつくってみたい。

2)担任の先生から…

- 大仏パネルは大きさを体感できて良かった。大仏づくりの DVD では、制作過程や苦労などもよくわかり効果的だった。
- 平田に関わる歴史では、体験活動や視聴覚資料が充実すると良かった。
- 平田の戦国時代の歴史について興味を持つきっかけを作ってもらえたことは良い。地域史と日本全体の歴史との接点を見つけて追求してほしいです。

3)埋文センターから

学校の周辺や自分たちがよく行く公園に城跡があることを知って、児童のみなさんは改めて戦国時代の人々やその動きに思いをめぐらせたのではないのでしょうか。大仏パネルづくりでは、思い通りの形につくりあげるのにちょっと苦勞しているところも見られましたが、みんな最後までがんばって完成させることができました。

いただいたアンケートや先生からのご意見を受け、戦国時代の平田の歴史の学習(座学)については、教材や手法を検討し、今後に生かしてゆきたいと思います。出土遺物の活用やその説明も充実させたいところです。